

■ 指導案(試練1) 60分

- 目的: インターネットには、本物だと騙して情報を盗み出すニセモノが多数存在していることを理解する。これを「フィッシング」と言う。
ネット上にあるニセモノは、見た目だけでは大人でも本物と区別できないものが多数あることを理解する。

- 学習目標:
 1. ニセモノは巧妙に本物のフリをしているので、表現だけで見分けることは難しいことを理解する
 2. 世の中に存在するフィッシングの例を紹介して、どのようなケースに気をつけなければならないかを理解する
 - (ア) 応募していないキャンペーンの当選の通知
 - (イ) 送り主がはっきりしない高額プレゼントの連絡
 3. 本物かニセモノか分からないときは、どう振る舞えばよいかを理解する

- 指導上の留意点:
 1. ニセモノの可能性のある情報に出会ったときは、無視する(個人情報を入力しない、返信しない)よう指導する
 2. ニセモノの可能性のある情報を無視することがためられる場合には、専門知識を持つ大人に相談するのが最良で、友達に相談して対応を決めないよう指導する

所要時間	指導者の行動	学習活動	指導上の留意点
導入① 2分	この教材の目的、概要を説明する	この教材について説明を聞く	
導入② 4分	フィッシング詐欺について、意見を聞く	総務省のサイトなどを見せて、事例を紹介する	アイスブレイク
導入③ 4分	この教材の構成や使い方を説明する	・この教材の構成の説明を聞く ・ステータスの使い方を聞く	ビデオマニュアルを視聴させてもよい
展開①-1 5分	宝箱のヒントと、フィッシングの関係について説明する	・世界図書館の「第一の試練の書」を読む ・ステータスに反映されたことを確認する	用語の不明点は適宜解説する
展開①-2 8分	どのようにニセモノに対応するか、フィッシングの考え方について討論する	フィッシングにはどのように対応すればよいか考える	操作の不明点は適宜サポートする
展開①-3 5分	分かったことまとめて意見を交換する	・ワークシートに記入する ・意見を発表する	挙手させてもよい
展開②-1 25分	第一の試練を体験させる	・世界図書館で第一の試練のルールを確認する ・ワールドを開いて試練にチャレンジする	・用語の不明点は適宜解説を追加する ・ビデオマニュアルを視聴させてもよい
展開②-2 5分	第一の試練で分かったことをまとめて発表する	・ワークシートに記入する ・意見や感想を発表する ・ステータスに反映されたことを確認する	
まとめ 2分	フィッシングというリスクを意識して情報検索を利用することの意味を考えさせる	フィッシングの危険性と、自分はどのように行動すればよいかを考える	フィッシングの相談窓口を紹介する
応用①	第一の試練に必要なマイクラフトの基本操作をチュートリアルで練習する	マイクラフトに不慣れな児童は、チュートリアルで操作を練習する	操作方法や用語の不明点は適宜解説する
応用②	関連する試練の上級者の試練を体験させる	初心者の試練を終えた児童は、上級者の試練にチャレンジする	用語や行動の不明点は適宜解説する

対応する解説教材の場所:

情報セキュリティについて(上から3つの画面の左下の赤いボタン) > 情報セキュリティ

http://dcajr.jp/isekai/3_1_1.html